

2009年1月

< 報道関係各位 >

～ 社会貢献・芸術文化事業の一環として、有望な音楽家を支援～

第10回『ホテルオークラ音楽賞』受賞者決定

神尾真由子氏〔ヴァイオリニスト〕

田村響氏〔ピアニスト〕

ホテルオークラ東京「ロビーコンサート25」にて授賞式、記念演奏会を開催

日時:2009年3月25日(水) 18:00～19:00

株式会社ホテルオークラ東京

ホテルオークラ東京では、1996年度より社会貢献・芸術文化事業の一環として『ホテルオークラ音楽賞』を設け、将来を嘱望される有望な音楽家を奨励してまいりました。このたび、第10回『ホテルオークラ音楽賞』の受賞者を、厳正な選考の結果、ヴァイオリニストの**神尾真由子(かみお まゆこ)**氏とピアニストの**田村響(たむら ひびき)**氏に決定いたしました。

神尾真由子氏は、「2000年 米国のヤング・コンサート・アーティスト国際オーディション」、および「2007年 チャイコフスキー国際コンクール」ヴァイオリン部門にて優勝を果たすなど、現在注目されているヴァイオリニストです。

田村響氏は、2002年の「第18回 園田高弘賞ピアノ・コンクール」で園田高弘賞1位を受賞したほか、2007年の「ロン・ティボー国際コンクール」ピアノ部門で優勝を果たすなど、その活躍の場を世界に広げつつある若手ピアニストです。

ホテルオークラ東京は、この二人の活躍をたたえとともに、今後のさらなる活躍を期待し授賞を決定いたしました。また、2009年3月25日(水)18時より、ホテルオークラ東京「ロビーコンサート25」におきまして第10回『ホテルオークラ音楽賞』受賞者による記念演奏会および授賞式を開催いたします。



(C) Takafumi Yamanishi - Sony BMG Masterworks

< 神尾真由子氏 >



竹原伸治提供 = アリオン音楽財団

< 田村響氏 >

将来を囑望される有望な音楽家を支援・奨励する『ホテルオークラ音楽賞』

『ホテルオークラ音楽賞』は、ホテルオークラ東京の社会貢献・芸術文化事業の一環として1996年の開業35周年を機に、近年めざましい活躍をされ、さらに将来が囑望される音楽家を支援・育成するための制度として創設いたしました。1996年に第1回、2000年に第2回と、4年ごとに開催してまいりましたが、2001年の第3回以降、同賞を毎年定例のイベントとして実施する運びとなり、今回で10回目を数えます。本事業が一人でも多くの将来有望な音楽家を支援し、より充実した音楽活動を行っていただくための一助となることを願っております。また、『ホテルオークラ音楽賞』の活動を継続的に行っていくことにより、日本が誇る芸術・音楽文化の発展に貢献してまいります。

ホテルオークラ東京の社会貢献・芸術文化事業

このほかにも、ホテルオークラ東京では、メセナ活動を通じ社会貢献・芸術文化事業を行う方針のもと、一般参加により4年に1回開催している「ホテルオークラ『第九』コンサート」、毎月25日にメインロビーで行う「ロビーコンサート25」を開催しております。また、チャリティイベントとして毎年5月に「10カ国大使夫人のガーデニング in Okura」、8月には「秘蔵の名品アートコレクション展」などの事業・イベントを開催しております。

- ・ 2008年12月29日 「第5回 ホテルオークラ『第九』コンサート」
- ・ 2009年1月25日 「第266回 ロビーコンサート25」 ピアノ 向井山 朋子氏
- ・ 2009年2月25日 「第267回 ロビーコンサート25」 声楽/ソプラノ カノン氏
- ・ 2009年5月2日～6日 「第10回 10カ国大使夫人のガーデニング in Okura」
- ・ 2009年8月1日～31日（予定）「第15回 秘蔵の名品 アートコレクション展」オランダ絵画展

第10回『ホテルオークラ音楽賞』概要

- 【受賞者】 神尾真由子氏（ヴァイオリニスト）
田村響氏（ピアニスト）
- 【選考委員】 松井 幹雄（ホテルオークラ東京 取締役会長）
前 和男氏（札幌コンサートホール kitara 元館長）
諸石 幸生氏（音楽評論家）
本名 徹次氏（ベトナム国立交響楽団ミュージック・アドバイザー・
指揮者、オーケストラ・ニッポニカ音楽監督）
選考委員長
- 【奨励金】 各100万円
- 【副賞】 ホテルオークラ東京 スイートルームペアご招待（1泊2食付）
- 【受賞記念演奏会】 日時：2009年3月25日（水）18：00～19：00
および授賞式 場所：ホテルオークラ東京 本館5階 メインロビー

受賞者 プロフィール

神尾 真由子(かみお まゆこ)氏

大阪府出身。国内外の主要オーケストラと共演を重ね、「この才能は、ただただ神から授けられたとしか言いようのないヴァイオリン奏者」、「歌心に満ちた音楽が体の中からあふれ出てくる」と大絶賛され、その将来を囑望されている。

1998年、「メニューイン国際ヴァイオリンコンクール」ジュニア部門にて、11歳で最年少入賞を果たす。国内では、シャルル・デュトワと共演した本格的デビュー以来、国内外の主要なオーケストラとの共演やリサイタルにて非常に高い評価を得ている。

2000年には、「米国のヤング・コンサート・アーティストの国際オーディション」(54カ国から422人が参加)にて第1位を受賞したほか、2007年には「チャイコフスキー国際コンクール」ヴァイオリン部門にて優勝を果たしている。

神尾真由子が演奏するヴァイオリンは、サントリー株式会社より貸与されたもので、1727年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスである。

田村 響(たむら ひびき)氏

愛知県出身。22歳。愛知県立明和高等学校音楽科卒業後、現在、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。

2002年、「エトリンゲン青少年国際ピアノ・コンクール」B部門第2位及びハイドン賞、「第26回ピティナ・ピアノコンペティション」特級グランプリ、「第18回園田高弘賞ピアノ・コンクール」にて園田高弘賞第1位を受賞した。

また、2003年度<アリオン賞>も受賞。第14回大幸財団丹羽奨励生、(財)江副育英会奨学生にも選出されている。2006年には、「第16回出光音楽賞」を受賞。2007年には「ロン・ティボー国際コンクール」ピアノ部門で優勝(第1位)した。そのほか、ショパン、フォーレ、ラフマニノフ(協奏曲)新曲課題の最優秀演奏者に贈られる各賞を受賞している。

選考委員の講評

選考会議は各委員が提出した候補者リストに従って自由活発な討議を重ねるといふ例年どおりのかたちで進められ、全員一致で2名の受賞者を選出した。二人とも年齢的にまだ若く、国際的に活躍する将来への期待は計り知れぬほどに大きいものがある。

神尾真由子氏は、「2007年 チャイコフスキー国際コンクール ヴァイオリン部門の覇者」という誇らしいキーワードとともに語られることが多いが、その優勝以前にも彼女の卓越した才能と実績は国内外で広く認められていた。今回の結果は、そうした彼女のプロフェッショナルなキャリアをトータルに俯瞰してのものである。当然のことながら、旺盛な意欲と完成度に裏付けられた最近の演奏活動についても高く評価されて然るべきものと考えた。

田村響氏は、彼と同世代のピアニストたちの中でも、ひときわ抜きんでた存在として早くから認められていた。精妙な打鍵が生む若々しい情熱、音楽を大きく捉える知性、抑制された情感など、ステージに立つその瞬間に彼は自己の音楽を聴き手に届けるための強靱な意志とエネルギーを放射する。演奏をより深いものに成熟させるべく努力する真摯な取り組みも評価した。

この素晴らしい二人の受賞者が、広い世界を舞台とする最も靈感豊かな芸術家としてさらに成長されることを確信している。

選考委員 前 和男

『ホテルオークラ音楽賞』 歴代受賞者

- 第1回 矢部 達哉 (ヴァイオリン)
(1996 年度) 緑川 まり (声楽/ソプラノ)
- 第2回 阪 哲朗 (指揮)
(2000 年度) 佐々木 典子 (声楽/ソプラノ)
- 第3回 徳永 二男 (ヴァイオリン)
(2001 年度) 森 麻季 (声楽/ソプラノ)
- 第4回 上岡 敏之 (指揮)
(2002 年度) 高橋 薫子 (声楽/ソプラノ)
- 第5回 小川 典子 (ピアノ)
(2003 年度) 林 美智子 (声楽/メゾソプラノ)
- 第6回 若林 顕 (ピアノ)
(2004 年度) 大萩 康司 (ギター)
- 第7回 小山 実稚恵 (ピアノ)
(2005 年度) アントネッロ (アンサンブル)
[濱田 芳通・石川 かおり・西山 まりえ]
- 第8回 庄司 紗矢香 (ヴァイオリン)
(2006 年度) 小菅 優 (ピアノ)
- 第9回 村治 佳織 (ギター)
(2007 年度) 佐藤 俊介 (ヴァイオリン)

報道関係の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 マーケティング部 広報 天野・中澤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 TEL: 03-3224-6731 (直通)

一般の方からのお問い合わせ先

ホテルオークラ東京 TEL: 03-3582-0111 (代表)